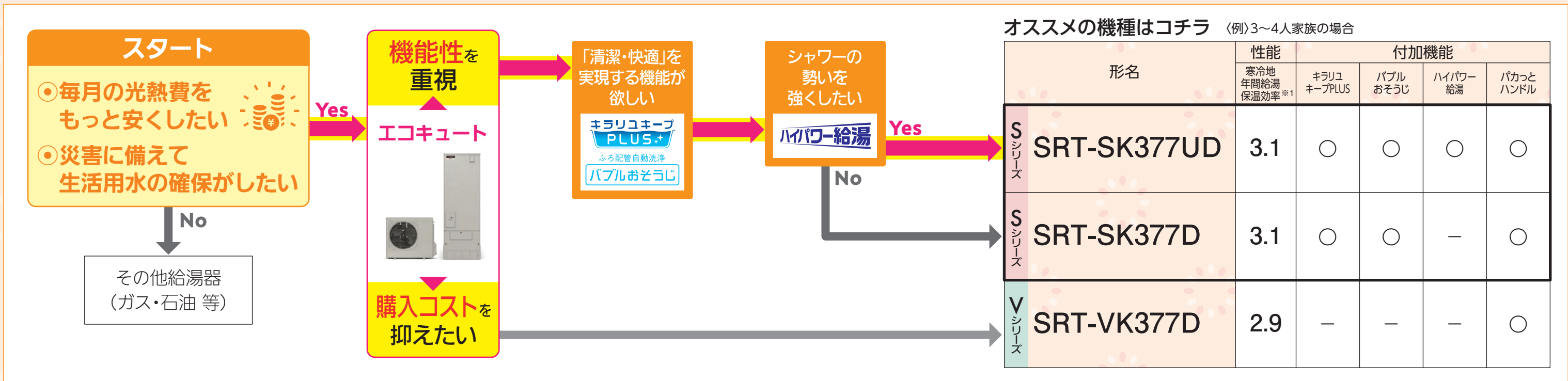
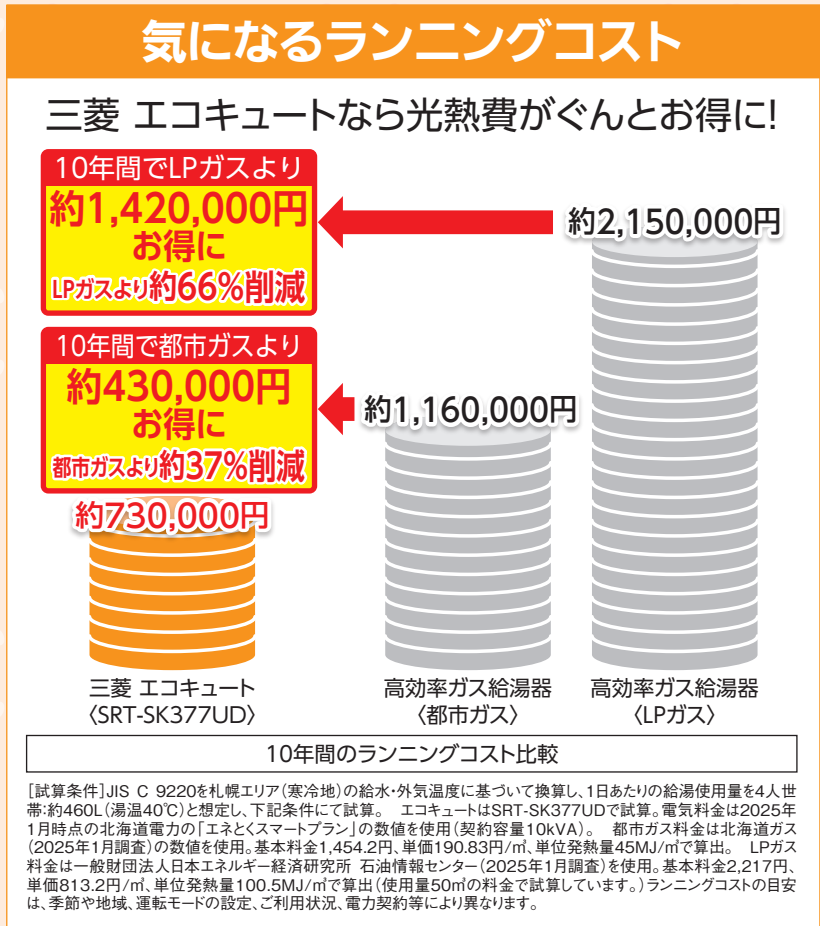




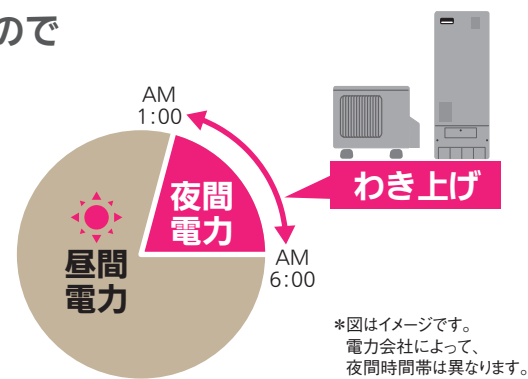
※1:寒冷地年間給湯保温効率(JIS)はJIS C 9220に基づいています。 ※2:脚部カバーがない場合、取水窓を開ける操作は必要ありません。 ※3:ホース不要で水(お湯)が取り出せます。ただし熱湯がでる場合がありますのでご注意ください。 ※4:〔試験機関〕衛生微生物研究センター(試験番号:2021D-BT-07039-7)〔試験条件〕湯量:180L、湯温:40℃、ふる配管長8m、保温無し〔試験方法〕湯量180L、湯温40℃、ふる配管長8mに、湯はり完了から5時間後の4人入浴を想定して、0.1,2時間後にそれぞれ1人分の菌を投入。0～3時間までキラリユキープを運転し、3～5時間で2時間キラリユキープ入浴を実施し、キラリユキープ入浴前後の菌数を測定〔試験結果〕2時間キラリユキープ入浴により、99.8%除菌 ※5:〔試験機関〕衛生微生物研究センター(試験番号:2021D-BT-07039-5)〔試験条件〕湯量:180L、湯温:40℃、ふる配管長8m、保温無し〔試験方法〕湯量180L、湯温40℃、ふる配管長8mに、4人入浴を想定して、0.1,2.5時間後にそれぞれ1人分の菌を投入。0～13時間までキラリユキープを運転し、湯はり完了から13時間後に2時間キラリユキープ洗濯を運転し、キラリユキープ洗濯前後の菌数を測定〔試験結果〕2時間キラリユキープ洗濯により、99.5%除菌 ※実使用での試験結果ではありません。使用環境によって除菌処理時間が長くなることがあります。ご使用状況に合わせて運転時間を長めに設定してください。経年により性能低下する可能性があります。約8年使用した場合、30分延長することをおすすめします。 ※6:ふる自動中およびふる配管の凍結予防運転中は自動洗浄を行いません。また、洗濯水など残り湯を利用する場合も自動洗浄を行わないことがあります。 ※7:水位の目安は浴槽アダプターの中心から10cm以上です。水位が低いと自動洗浄が作動しないことがあります。 ※8:浴槽や浴槽アダプターの表面等は洗浄されません。

ランニングコストが安い、そのわけは？

1 ヒートポンプのしくみを利用してお湯を沸かすので
高効率=省エネ運転を実現。

2 昼間より**割安な夜間電力**を主に利用して
わき上げを実施。

さらに
3 太陽光発電システムと連携で
太陽光発電の余剰電力でお湯を作ることも！



高効率な「ヒートポンプ技術」と「割安な夜間電力」を活用して、
ガスや石油ボイラー等の他熱源に比べて光熱費の削減が可能です。

家族の人数でタンク容量を選ぶ

使用湯量の目安とタンク容量

家族人数	お湯の使用量の目安(40℃換算・冬期)					対応する タンク容量	
	浴槽湯はり	+	シャワー	+	洗面・台所		合計
5～7人	1回(180L)	+	7回(560L)	+	洗面・台所(245L)	985L	550L
4～5人	1回(180L)	+	5回(400L)	+	洗面・台所(175L)	755L	460L
3～4人	1回(180L)	+	4回(320L)	+	洗面・台所(140L)	640L	370L

試算条件：給水温度9℃・シャワー温度及び浴槽湯はり温度40℃◎浴槽湯はり量180L◎シャワー湯量[1階給湯時]80L/人 程度使用。
*上記の使用湯量目安は、浴槽の大きさ、シャワーの使い方などによって変わります。

少人数から大家族まで、人数に合わせてタンク容量をお選びいただけます。
「湯切れ」が心配な方は、大きめの容量がおすすめです。

もしもの備えも万全

貯湯 タンク

非常時には、たっぷりの
生活用水として使えます。

非常用 取水栓

パカッとハンドルで誰でも
カンタンに取水できます。

日時 バックアップ

停電後に、めんどうな
再設定も必要ありません。

停電時 出湯

停電時だって
お湯が使えるうれしさ！

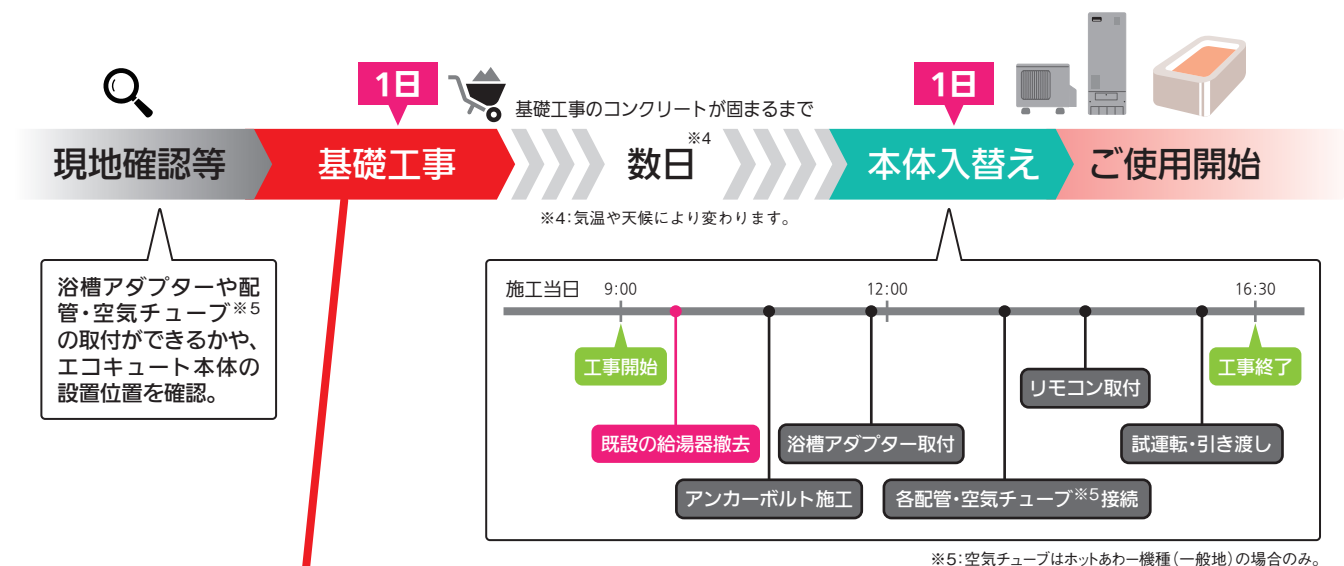
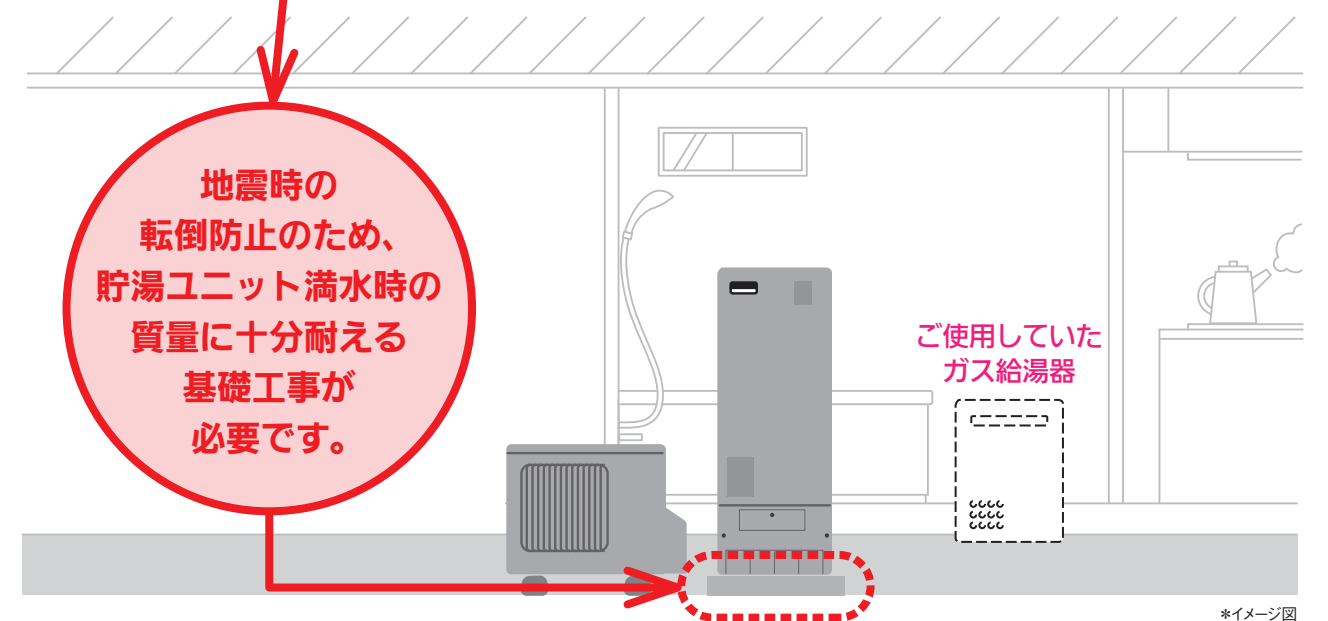
耐震クラス S

耐震性能も安心の「耐震クラスS対応」^{※1 ※2}。
脚部に幅広の「タフレッグ」を採用^{※3}。

※1：角型地階および1階ならびに敷地の部分に設置において、また、取付方法及びタンク容量によって対応できる耐震クラスが異なります。370Lタイプは地上階(1階)でのアンカーボルト3本固定で耐震クラスS(KH=1.0)を満足します。460Lタイプは地上階で脚固定金具を併用した固定で耐震クラスS(KH=1.0)を満足します。KHとは設計用水平震度を示します。詳細は、仕様書または据付工事説明書をご確認ください。
※2：(一財)日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における局部震度法による設備機器の地震力に基づいて設計。 ※3：角型370Lタイプ以上において。

ガス給湯器からエコキュートへの入れ替え例

■入れ替え工事イメージ



- 機器の性能や保守点検のため「設置制約」のスペースを確保してください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、給湯場所に近い所へ据え付けてください。

注) 寝室の近くやご近所の迷惑になる場所^{※6}には据え付けしないでください。

※6：ヒートポンプ給湯機は、主に人が睡眠している深夜に運転するため、運転音による不眠等が一部報告されています。
寝室や隣家に近い場所など騒音が気になる場所には据え付けしないでください。

騒音等防止を考えた
据付けに関して

『騒音等防止を考えた家庭用ヒートポンプ給湯機の据付けガイドブック』を
下記URLよりダウンロードできますのでご参照ください。
(一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページ)
http://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html



ガス給湯器から電気機器へ変更をする際(ガス給湯器から電気温水器やエコキュートへの取替など)は、事前にガス事業者への連絡が必要になります。
ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されていますのでご注意ください。